

## 谷議員、景山議員が聴く 地域の子どもに 寄り添って

表紙写真／話をお聞きした皆さん

東広島地区更生保護女性会の竹井会長、松浦志和支部長にインタビューし、会の活動や今後の課題についてお話を伺いました。

### プロフィール



東広島地区更生保護女性会  
会長 竹井 春江さん



東広島地区更生保護女性会  
志和支部長 松浦 和子さん

# 福祉・教育ボランティア活動を通じて、 子どもたちの健全育成を願っています。

**Q 東広島地区更生保護女性会の紹介をお願いします。**

**竹井会長** 東広島地区のメンバーは現在363名で、県内で2番目に会員が多い地区です。主な活動として、市内にある青少年の矯正施設等でボランティアを行っています。また、年間行事

としては研修、広報活動も行っています。会の起源は明治のころに遡りますが、戦争で家族

を失った若い方が非行や犯罪に走らないようにする活動を経て、現在は青少年育成、子育て支援に重点を置いて活動しています。

**Q 活動内容を詳しく教えてください。**

**竹井会長** 保育所や小学校を訪問して芋掘りや餅つき等の行事のお手伝い、登下校時の見守り、あいさつ運動などを行っています。更生保護施設では給食サービス等、青少年の矯正施設では裁縫

支援、誕生日会支援や、交歓会、運動会への参加等も行っています。今年は、コロナ禍で参加がかなわない行事もありましたが、矯正施設の青少年を支援するため、紙マスクの寄贈や、市の補助金を活用した布マスクの作成・寄贈、施設の草取り等を行いました。また、非行に走っている子どもが発達障害である場合に適切に接することができるように、その子たちが我々のことを理解しやすくなるよう、広島大学医学部の先生をお招きして、『発



- ① 取材風景
- ② マスク作り
- ③ 更生保護施設での給食サービス
- ④ 折り紙交流
- ⑤ 貴船原少女苑での草取り

達障害のある子どもの理解と「コミュニケーション」というテーマで講演を行いました。

**Q 地域ごとの活動はどのようなものがありますか。**

**松浦志和支部長** 志和地区ではつながりをつくることを重視し、「知ってるおばちゃん」という身近な存在になることを目指して活動しています。例えば、登校中の子ども顔を見て、「おはよう」とあいさつをします。そういった小さなことを積み重ねていって、家族でもない、学校の先生でもない、地域の人が自分を見てくれているんだという、そういうつながりを築き上げていくことが、私たちの地域での子どもたちとの関わりだと思っています。

**Q 活動にあたっての課題などがあれば、教えてください。**

**竹井会長** 活動も増えてきた関係で皆さんの理解も深まってきたのですが、まだ更生保護女性会の認知度は高いとは言えません。企業に活動への協力をお願い

している際、苦労することもあります。

**Q 今後の活動などを教えてください。**

**竹井会長** 今年組織を改編しました。広域合併する中でお互いの顔が見えにくくなったため、町単位で支部を構成し、それぞれの支部活動を充実させようと思っています。また、市が推進している「コミュニティスクール」に呼応して私たち会員が中心となって子育て支援グループを立ち上げました。今後は、行政とタイアップした活動も増やしていこうと考えており、「出来ることを出来るときに」を合言葉に活動していきます。今回の取材を機に私たちの活動に賛同してくださる方が増えることを願っています。

**Q 市への要望があれば、教えてください。**

**竹井会長** 国の再犯防止推進計画の地方計画を東広島市として策定し、地域に住民と子どもが触れ合える施設を充実させていきたいと思います。